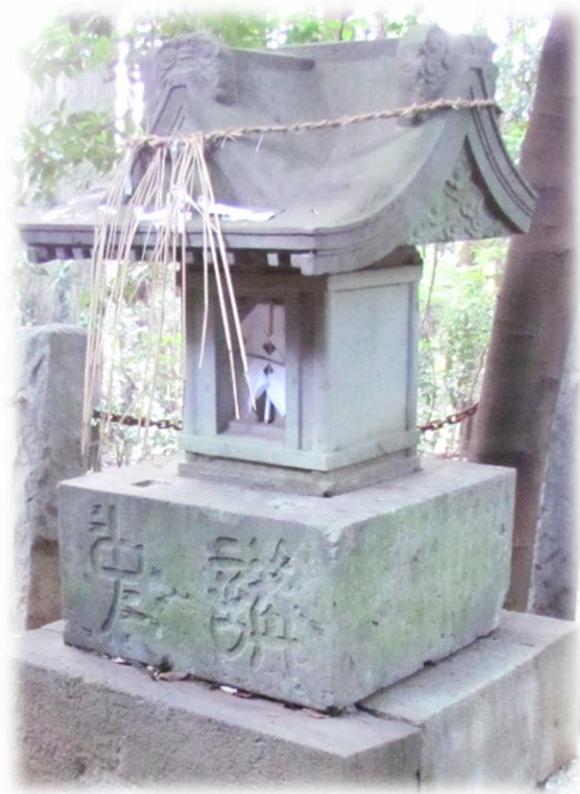


印西市本埜地区の 富士信仰の石造物

2022.5.15

八千代栗谷遺跡研究会学習会

藤 由美



笠神浅間神社の富士信仰の石造物

種類	銘文（抜粋）	紀年銘	西暦
石祠（浅間神）	講中/先達 長行真山 （他105人）	明治14・11・-	1881
手水石	手洗心／長行（他8人以上）	明治15・8・1	1882
神塔（磐長姫命）	磐長姫命／月並講	明治19・9・-	1886
富士講碑	（山）包/登山三十三度大願成就/小川北行（他111人）	明治20・5・吉	1887
富士講碑	（山）包/登山三十五度大願成就/長行真山（他159人）	明治37・7・-	1904
富士講碑	（山）包/碑 大講義 篠塚政行・岩井宗行（他123人）	大正9・11・1	1920
灯籠（竿石）	（奉）納／岩井宗行（他7人）	昭和6.6.1	1931
灯籠（竿石）	奉（納）／（人名7人）		
階段袖石	代参講	昭和6.6.1	1931
階段袖石	月並講		
富士講碑	食行身禄尊師／岩井宗行（他15人）	昭和6.6.1	1931
富士講碑	（山）包/代参講/月並講/大講義岩井宗行（他77人）	昭和8・8・13	1933
富士講碑	御室仙元大士／奉獻者 石川暢行	昭和9.12・-	1934
境内整備記念碑	社地擴張造林記念碑/扶桑教派笠神月並講(24人)	昭和11・11-	1936
富士講碑	（山）包/代参講/月並講/大講義押田國行（他89人）	昭和23・10・吉	1948
石段新設記念碑	浅間神社／石段新設記念碑 （人名26人）	昭和29・2・吉	1950

その他の地区の富士信仰の石造物

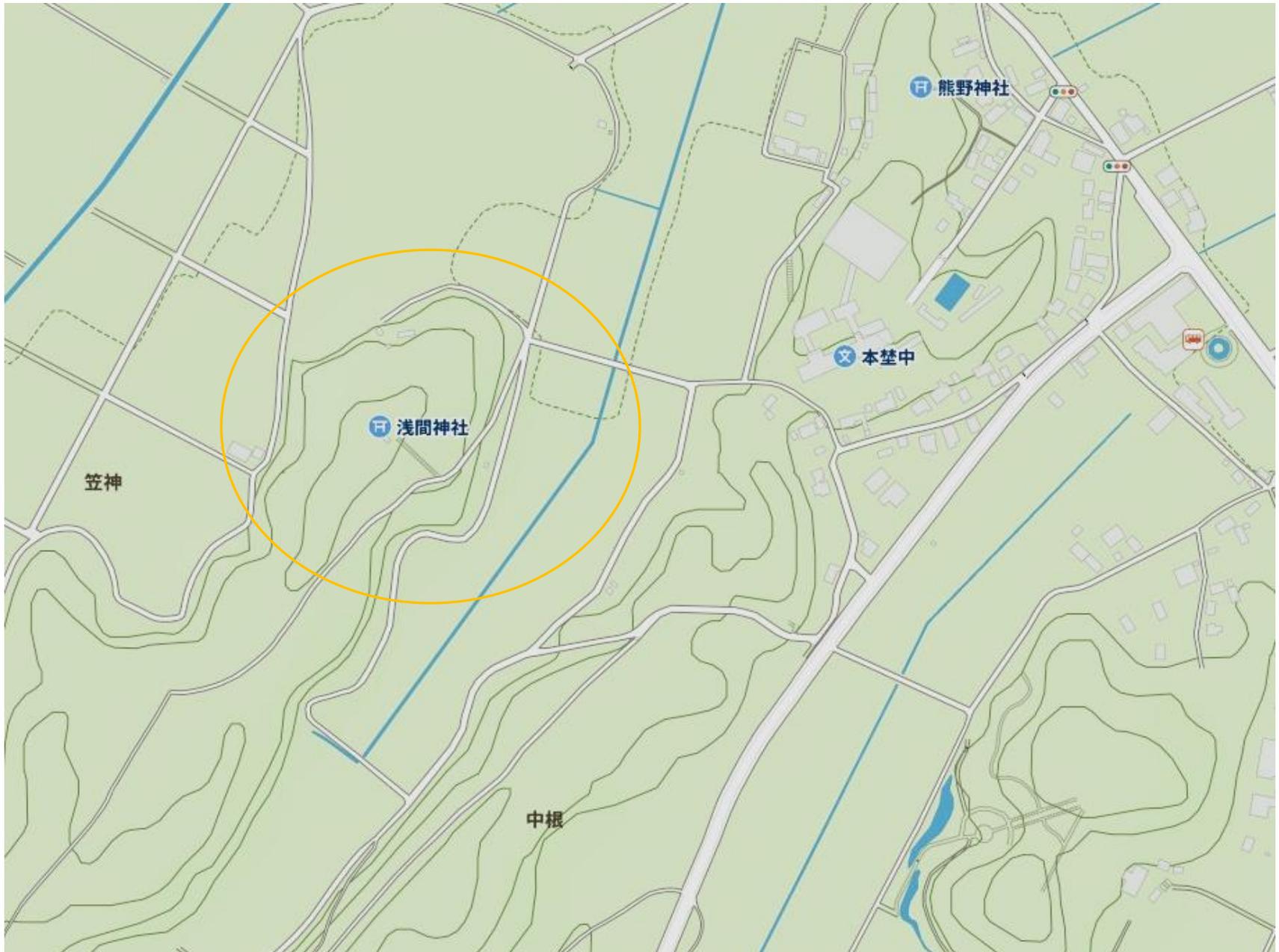
地区	種類	銘文（抜粋）	紀年銘	西暦	所在地
滝	石祠	富士浅間宮／印旛郡瀧村講中	延享2・1・吉	1745	滝白山神社
物木	富士講碑	富士浅間大神／登山記念（人名17人）	大正5・10・10	1916	物木諏訪神社
	富士講碑	浅間大神／登山記念（人名13人）	昭和14・7	1939	物木諏訪神社
竜腹寺	石祠	仙元神社	明治12.4.吉	1879	竜腹寺浅間神社
下井	富士講碑	（山）包/講登山記念碑/講元故井上實行真月（58人）	大正15・10・吉	1926	下井鳥見神社
	石祠	浅間神社/先達吉植傳右エ門春山安行（他5名）	大正3・1・吉	1914	下井鳥見神社
将監	石祠	仙元宮 當村講中	嘉永6・9・吉	1853	密蔵院
本埜小林	石祠	仙現宮	慶応1・9・吉	1865	本埜小林水神社
松木	石祠	仙（元宮）	明治5・11・同	1872	松木水神宮
押付	富士講碑	中構義真行秘月碑 講中（人名103人）	大正14・11・吉	1925	押付ヤシ口水神社
	石祠	仙元宮	嘉永7・8・吉	1854	押付ヤシ口水神社
行徳	富士講碑	小御嶽大神 月並講 先達 服部八五郎（他33人）	大正13・12・吉	1924	行徳 稲荷神社
	石祠	先達忠行（人名多数）	明治7・9・吉	1874	行徳 稲荷神社
下曾根	富士講碑	少講義藤行源山 権少講義誠行眞山碑（97人）			下曾根市杵島神社
和泉屋	石祠	（山）包/大願成就/「おこたらず・・・」木行平月他12人	大正10・6・朔	1921	和泉屋氷川神社

滝白山神社の石祠（本埜地区最古の浅間信仰の石造物）

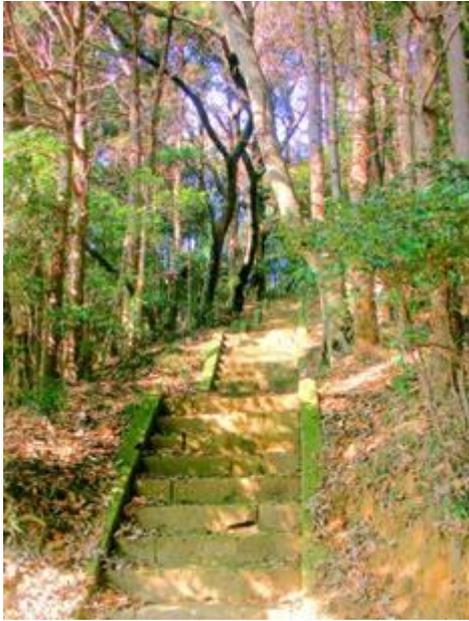


（キリーク） 富士浅間宮
延享二乙丑天十一月吉日（1745）
印旛郡瀧村講中

笠神浅間神社の地形と立地



笠神浅間神社の境内



- 本榊支所の西約500m、台地先端の山上にある。
- 塚の上に明治14年（1881）の石祠、祭神木花開邪姫を祀る
- 明治20年～昭和23年までの富士講碑6基
総高1.5～2.1m、人名銘78～160人、山包講紋あり
- 「御室仙元大士」碑（仙元大菩薩＝木花咲耶姫）
- 「磐長姫命」碑（木花咲耶姫の姉・五合目小御嶽社祭神）
- 「食行身祿尊師」碑（富士信仰の中興の祖）



明治37年の富士講碑（「長行真山」碑）

裏面	正面	写真
<p>当區 岩井治郎左工門 岡田文治 岡田文藏 岩井與作 岩井平兵エ 植木万吉</p>	<p>明治三十七年九月</p>	<p>（山印）包 登山三十五 度大願成就</p>
<p>富山甚太郎 鈴木平治 岩井治右工門 篠塚又吉 岩井五郎左工門 岩井小治郎 岩井宗治郎 出山浅吉 押田澤吉 岩井庄太郎 岩井六平</p>	<p>発起人 先達 篠塚政行 全 岡田大行 脇先達古川一行 全 篠塚新行</p>	<p>少教正長行真山碑</p>
<p>富山林藏 岩井七左工門 篠塚清作 岩井定治 岩井長藏 岩井五右工門 川森三郎右工門 岩井八郎兵エ 林田権右工門 五十嵐甚平 川森甚左工門 小川定吉 富山佐吉 出山藤之助 岩井永治郎</p>	<p>（台石 正面）</p>	
<p>青山三治 篠塚庄松 岩井代三郎 五十嵐甚五平 篠塚重太郎 岩井佐太郎 富山運次 押田國藏 岩井己之松 横尾茂右工門 岩井儀左工門 岩井庄三郎 出山茂八 石川定吉 清宮寅松 齋藤富藏 岩井弥市</p>	<p>大杜村中ノ口 先達清行誠山 宗像村吉田 先達齋藤恵治 六合村瀬戸 清行新山 桮原村川通 先達小川重行</p>	

明治37年の富士講碑（「長行真山」碑）裏面の続き

裏面（5～7段目）			
世	話	人	世
岩井金藏 鈴木永重	岩井金藏 鈴木永重 若尾源太郎 屋敷泰助 屋敷常太郎 石塚秀太郎 荒井永重 若尾泰助 岩城為藏 荒井市太郎 鈴木平助 岩井勘藏 屋敷與市 服部弥平治 清水源七 岩城健之助	織原いの 岩城政之助 石塚たけ 伊藤乙治郎 服部己之松 内田芳松 大杜村中ノ口 セ 中澤平八 ワ 石井長作 人 外講中 六合村瀬戸 セハ 寺本清五郎 人 外講中 船穂村惣深 湯浅林藏 木下町宗甫区 山口長行 浅野治郎兵エ 黒田市右エ門 折原三郎兵エ 船穂村松崎 鈴木春藏 下曾根 岩井万藏 押付 二代目 中嶋登行 伊藤乙治郎	木下町別所 松貝孫六 渡辺長兵エ 石橋新四郎 山口松五郎 浅野幸吉 伊藤薰藏 小笠原甚八 板倉源七郎 永治村浦部 藤原小三郎 白幡区 山崎新五兵エ 吉田区 香取與助 六合村萩原 セ 岩井治良左エ門 ワ 飯田衆治 久保田利三郎 中里千代松 天野榮治郎 平山治三郎 平山與助 中村治良右エ門 天野専之助
裏面（8～9段目）			
岩井藤太郎 飯田春吉 大野重吉 中村濱之助 中村真 石橋逸作 五十嵐八良左エ門 平山豊吉 岡田初太郎 天野駒吉 亀田芳三郎 石井五左エ門 飯田京次 飯田貞治郎 岩井小助 久保田團治 石井新五左エ門 石井新藏 岩井平太郎 大野吉五郎 石井幸之助	岩井藤太郎 飯田春吉 大野重吉 中村濱之助 中村真 石橋逸作 五十嵐八良左エ門 平山豊吉 岡田初太郎 天野駒吉 亀田芳三郎 石井五左エ門 飯田京次 飯田貞治郎 岩井小助 久保田團治 石井新五左エ門 石井新藏 岩井平太郎 大野吉五郎 石井幸之助	岩井藤太郎 飯田春吉 大野重吉 中村濱之助 中村真 石橋逸作 五十嵐八良左エ門 平山豊吉 岡田初太郎 天野駒吉 亀田芳三郎 石井五左エ門 飯田京次 飯田貞治郎 岩井小助 久保田團治 石井新五左エ門 石井新藏 岩井平太郎 大野吉五郎 石井幸之助	造谷 櫻井彦七 岩井茂重 当區 長谷川宗太 石川與吉 浅野岩吉 岩井繁藏 川森徳太郎 岡田與藏 岡田三藏 浅尾半左エ門 岩井定吉 稲葉要藏 岩井惣作 川森倉治 岩井弥三郎 岩井浅右エ門 小川弥右エ門 石川米藏 岩井庄左エ門 岩井清藏 岩井治郎右エ門

笠神浅間神社の石碑



「磐長姫命」碑
明治19年（1886）



「食行身禄尊師」碑
昭和6年（1931）



「御室仙元大士」碑
昭和9年（1934）

和泉屋氷川神社の石祠（大正10年）

裏面	左面	正面	右面	写真
	<p>大願成就</p> <p>訓導 木行平月 鈴木平助建之</p>		<p>大正十年六月朔日 おこたらず誠の道を辿りつゝ 神のみしるしとはにあおがん</p>	
（台石裏面）	（台石左面）	（台石正面）	（台石右面）	
	<p>権少講義者</p> <p>真行秋月 服部勝行 岩井万藏 清水源七 岩城調行 若尾政太郎 石塚秀太郎 全 泰助 屋敷恒太郎 鈴木利惣治 屋敷与行 信</p> <p>一等講長 小川重行</p>	（山包）の印		

自然地形の富士信仰の山と人工の富士塚

☆自然地形を富士山に見立てた浅間神社タイプ

- ・砂丘や下総台地の先端、古墳などに社を祀り、参道を整備。
- ・東京湾岸では富士山遥拝の聖地

例：江戸川区篠崎浅間神社
船橋市山野浅間神社
千葉市稲毛浅間神社
八千代市米本浅間神社

☆人工の「江戸富士塚」タイプ

- ・元祖は、東京早稲田の水稲荷神社の、安永8年（1799年）高田藤四郎発願の富士塚（早稲田大学拡張により移転）
- ・水運の便が良い地域や江戸川区や浦安などの低地では、黒ぼくを積んだ富士塚が盛んに造営された。
- ・八千代市域などは土を盛った低い塚が多い。

☆笠神浅間神社は、自然地形タイプ。